

平成17年度 わたしたちのまちの予算

一般会計予算の概要

今月号では、平成17年度の一般会計の予算の概要と主な事業についてお知らせします。

歳入

【自主財源】
自主財源は、町税、繰越金、繰入金など、町が自主的に収入することができる財源で、39億7,789万7千円を見込んでいます。また、その歳入合計に占める割合は25.4%となっています。

主なものとして、町税は町民税、固定資産税、軽自動車税などで19億783万9千円を、繰越金は前年度繰越金で6億5,243万3千円を見込んでいます。また、繰入金（基金）の取り崩しとして、社会福祉協議会への出捐金に充てるため、地域福祉基金から3億円を、歳入の不足財源の調整に充てるため財政調整基金から3億円など、合わせて6億1,768万6千円を計上しています。

【依存財源】
依存財源は、地方交付税、町債、国県支出金など、国や県から町に定められた額が交付されたり、割り当てられた

りする財源で、116億9,460万3千円を見込んでいます。また、その歳入合計に占める割合は74.6%となっています。

主なものとして、地方交付税は60億円を見込んでいます。また、町債（借入金）は合併による財政上のメリットを活かし、財政支援措置として後年度の地方交付税にその元利償還金の一部が算入される合併特別債を23億6,020万円、地方交付税の削減に伴う財源補てんのための臨時財政対策債を5億円など合わせて36億6,030万円を、国・県

支出金は町債（借入金）と同様に合併による財政上のメリットを活かし、国の合併推進体制整備補助金と県の合併特別交付金で1億9,875万9千円を合わせて14億5,530万3千円を見込んでいます。

「三位一体の改革」により公立保育所運営費負担金や養護老人ホーム等保護費負担金などが一般財源化され、これに対する財源措置として国から税源移譲により交付される所得譲与税8,300万円など合わせて2億1,700万円を見込んでいます。

歳出

【目的別内訳】

目的別内訳は、一般会計の歳出予算を行政目的によって分類したものです。

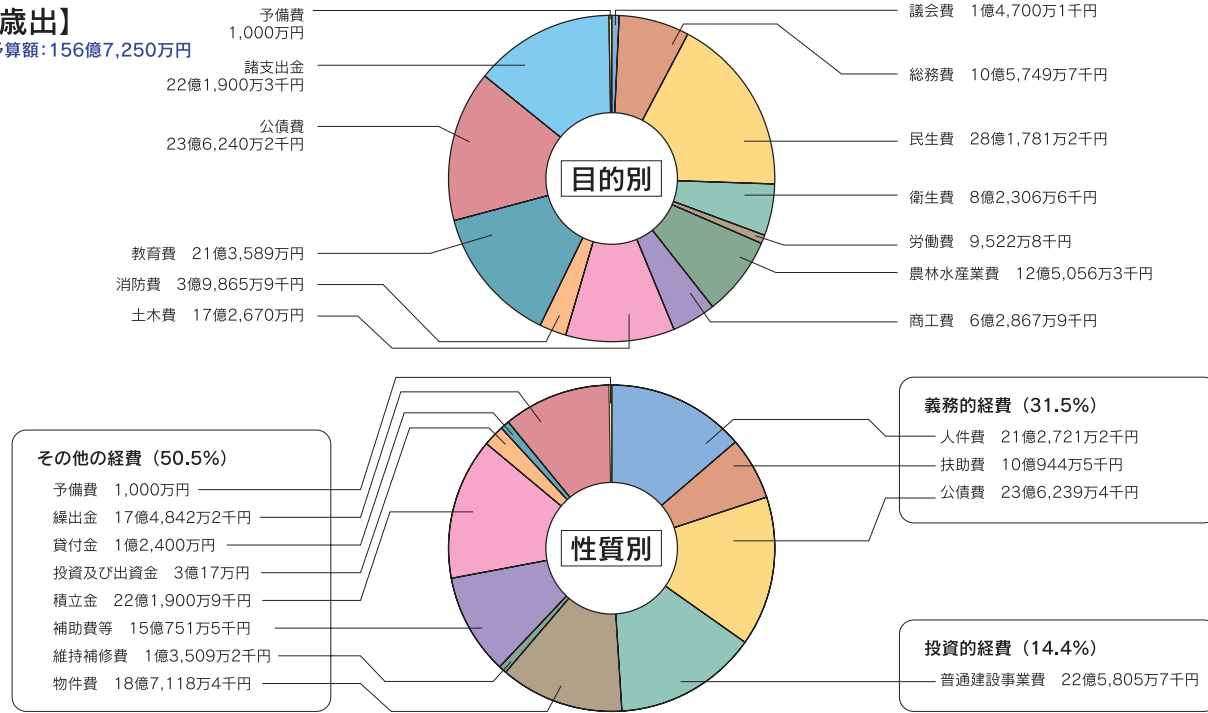
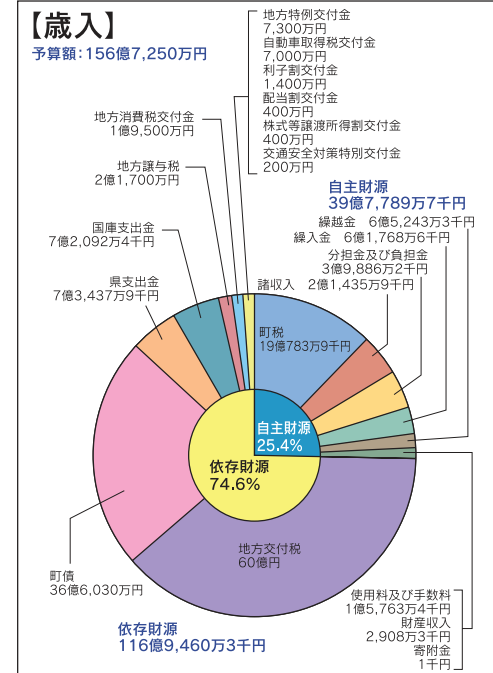
主なものとして、民生費（社会福祉・児童保育などにかかるお金）は28億1,781万2千円で歳出合計の18.0%を、教育費（学校教育・生涯学習などにかかるお金）は21億3,589万円で歳出合計の13.6%を、公債費（借入金の返済にかかるお金）は23億6,240万2千円で歳出合計の15.1%を占めています。また、諸支出金（その他行政運営にかかるお金）は22億1,900万3千円で歳出合計の14.2%を占めています。これは、新町における一体感の醸成や住民の方々の連携の強化、また地域の振興を図るために設けられる地域振興基金への積立金22億1,900万円を計上しているためです。

づけられている固定的な経費で、合わせて54億9,905万1千円となっています。また、その歳出合計に占める割合は35.1%となっています。

人件費（委員報酬や職員給与などにかかるお金）は21億2,721万2千円、扶助費（医療費助成や児童手当などにかかるお金）は10億9,444万5千円、公債費（借入金の返済にかかるお金）は23億6,239万4千円となっています。

投資的経費は、道路や学校などの建設のための臨時的な経費で、22億5,805万7千円となっています。また、その歳出合計に占める割合は14.4%となっています。

その他の経費は、義務的経費と投資的経費以外の行政運営に必要な経費で、合わせて79億1,539万2千円となっています。また、その歳出合計に占める割合は50.5%となっています。物件費（賃金、光熱水費、委託料などにかかるお金）は18億7,118万4千円、補助費等（団体等への補助金や一部事務組合に対する負担金などにかかるお金）は15億7,515万5千円、繰越金（国民健康保険、介護保険、簡易水道、公共下水道などの特別会計への支出にかかるお金）は17億4,842万2千円となっています。



平成17年度の主な事業

まちづくりの将来目標ごとに主な事業を見てみると… ※事業費の万円未満は切捨てとしています。

快適で、安心して暮らせるEternal-town

- 住みやすいまちを演出する都市基盤・公共施設の充実**
 - ◎**町道改良事業 2億2,400万円**
町内外の交流や連携を支える幹線道路を整備するため、幅員が狭小な区間を拡幅改良するとともに、冬期の円滑な交通を確保するため、消雪設備を設置します。また、歩行者の安全を確保するため、通学路における歩道を整備します。
 - ◎**町道中央線（気比庄地係）の拡幅改良**
町道梨子ヶ平八ツ俣線（梨子ヶ平地係）の局部改良
 - ◎**町道中部縦断線（樺津地係）の消雪設備の整備**
 - ◎**町道新庄気比庄線（気比庄地係）の歩道整備**
 - ◎**町道乙坂気比庄線（気比庄地係）の測量試験**
 - ◎**町道織田平等1号線（平等地係）の歩道整備**
- ◎**国・県道改良事業 7,880万円**
日常生活や産業活動を支える国・県道の道路網を整備するため、県が施工する道路改良事業を行います。
- ◎**国道417号道路改良事業（青野・上戸地係）**
- ◎**国道365号道路改良事業（舟場・八田・梅浦地係）**
- ◎**地方特定道路事業（米ノ地係）**
- ◎**朝日地区簡易水道統合整備事業 1億8,945万円**
糸生中部・小川簡易水道と大畑給水施設、水道未普及地域を上水道施設と統合するため、牛越送配

「快適なまち」

水ポンプ場の設置や糸生中部配水池の増設などを行います。

◎**越前地区簡易水道整備事業 1億1,728万円**
安全で良質な飲料水を安定供給するため、高佐・白浜・茂原地区で浄水場を整備します。また、左右・梨子ヶ平地地区で、浄水場の建設や水道管路の布設などを行います。

◎**織田地区簡易水道増補改良事業 1億610万円**
織田地区の中央簡易水道で地下水源の活用と浄水場の増強を行い、水道水を安定して供給するため、惣分谷浄水場の配水池の増設や惣分谷・下河原・平等浄水場の中央監視設備の設置などを行います。



惣分谷浄水場

◎**越前地区集落環境整備事業 4億9,521万円**
公共水域の水質を保全するため、米ノ地区で漁業集落環境整備事業により下水処理場の建設や下水道管路の布設などを行います。また、左右・梨子ヶ平地地区では、農業集落排水事業により下水道管路の布設などを行います。

◎**地域交通計画（コミュニティバス試験運行計画）策定事業 3,522万円**
町民の「足」となる公共交通を確保するため、地域交通活性化検討委員会を設置し、路線バス、スクールバス、福祉バスなどの町内の公共交通のあり方やコミュニティバスの運行計画を策定します。

安心して住み続けられる
保健・医療と福祉の充実

◎ 幼児医療費無料化対策事業 3,585万円

安心して産み育てられる子育て環境づくりを進めるため、本年10月1日からは小学校就学前までのすべての乳幼児の医療費の一部を助成します。(現在は満3歳未満児と子ども人数が3人以上いる世帯については小学校就学前までの乳幼児の医療費の一部を助成しています。)

◎ 延長保育事業 2,409万円

共働き家庭の子育てを支援するため、延長保育を行う町内の私立保育所(園)に対して補助し、これにより町内のすべての保育所(園)が延長保育を行います。

◎ 児童福祉施設緊急通報装置設置事業 345万円

近年、増加している不審者対策が急務となっていることから、子どもを安心して保育できる環境づくりを早急に進めるため、保育所(園)、児童館、子育て支援センターに緊急通報装置を設置します。

◎ 織田病院医療機器整備事業 6,230万円

織田病院の機能を拡充し地域医療体制を充実するため、手術室、内視鏡室、薬局などに麻酔監視モニター、超音波診断装置、全自動散薬分包機システムなどの高度医療機器を整備します。

くらしの安全確保

◎ 防災計画策定事業 600万円

災害時に迅速かつ適切に対応できるよう防災体制の充実を図るため、防災計画を策定します。

元気で、活力みなぎるEnergetic-town

「技」

地域資源と共生する産業の振興

◎ 中山間地域等直接支払制度事業 3,971万円

耕作放棄地の解消に努めるとともに、営農組織の育成や担い手を確保するため、一定の要件を満たす地域で集落協定を締結した地区に対し、中山間地域等直接支払制度交付金を交付します。

◎ 県営農業農村整備事業 1億2,471万円

活力ある農業の振興と農村地域の発展を図るため、農道、農業用排水路、集落道、防災施設などを整備します。

● 県営中山間地域総合整備事業負担金 宮崎東地区 5,997万円
越前地区 336万円
● 県営農村振興総合整備事業負担金 織田赤井谷地区 5,400万円
丹生七郷地区 738万円



農業用水を安定供給する「櫻津揚水機場」

◎ 有害鳥獣対策事業 1,826万円

イノシシなどの有害鳥獣による

住民主体のまちづくりの推進

◎ 男女共同参画推進事業 165万円

男女がお互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、住みよい活力のある町づくりを進めるため、男女共同参画まちづくり推進員会を設置するとともに、男女共同参画のつどいやモデル事業を行い、男女共同参画の啓蒙と推進を図ります。

次世代を担う人材育成

◎ 四ヶ浦小学校大規模改造事業 2億2,347万円

学校教育環境を整備するため、16・17年度の2カ年継続事業として、老朽化に伴う四ヶ浦小学校の校舎の改修を行います。



四ヶ浦小学校

「人」

◎ 小中学校緊急通報装置等設置事業 1,660万円

学校に不審者が侵入した際、丹生警察署や駐在所、教育委員会に通報するとともに、学校への不審者の侵入を防止するため、緊急通報装置やカメラ付きインターホンを設置します。

◎ 多目的ホール建設事業 6億1,710万円

生涯学習環境を整備するため、16・17年度の2カ年継続事業として、朝日生涯学習センターに併設する多目的ホールを建設します。



朝日生涯学習センター多目的ホール

◎ 図書館統合システム構築事業 3,334万円

図書館を利用する人の利便性を図り、図書館サービスを充実するため、朝日、宮崎、越前、織田地区にある図書館の貸出、返却、検索などの図書館システムを統合し、一枚の利用者カードでどの図書館からでも貸出や返却ができるようにします。また、町のホームページで4地区の図書館の蔵書検索や予約ができるようになります。

◎ 国際交流事業 733万円

国際化の進展に対応するため、国際交流員を配置するとともに英語版の町要覧を作成します。また、青少年の国際交流を進めるため、中学生の米国フロリダ州ジャクソンビル市への訪問や山梨県で開かれる国際交流キャンプへの参加を支援します。



会場となる県立ホッケー場

◎ ホッケー全国大会開催事業 530万円

生涯スポーツを通じて次世代を担う人材の育成を図るとともに、本町を全国に発信するため、本年12月に国が進めるスポーツ拠点づくり推進事業として「全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会」を開催します。

個性豊かで、誇りのもてるExcellent-town

「海士里」

まちの魅力となる

地域資源の保存と継承

◎ 環境条例制定事業 23万円

豊かで美しい自然環境や良好な生活環境を保全していくため、環境条例検討委員会を設置し、環境条例を制定します。

◎ ごみ減量化・リサイクル推進事業 408万円

ごみの減量化を図るため、コンポストの購入費に対して補助します。

また、環境保全の協働活動を支援し、ごみのリサイクルを進めるため、団体が行う資源回収に対し補助します。



資源回収

◎ 文化財態調査事業 234万円

各地域に残る貴重な文化財の内容を把握し保存・継承していくため、町内全域の埋蔵文化財を中心に態調査を行います。

観光地としての新たな魅力向上

◎ 町内観光施設紹介テレビ番組制作事業 1,165万円

町内には「食べる」「遊ぶ」「観る」「泊まる」といった豊かな観光資源が数多くあり、これらの観光資源の魅力が町内外にPRし、多くの観光客が訪れ活気あふれるまちづくりを進めるため、テレビ旅番組やホームページを制作し放映します。

◎ 越前温泉歓迎看板設置事業 1,030万円

越前温泉をPRし、観光客の誘致とまちのイメージアップを図るため、越前海岸の南の玄関口となる米ノ地係に、歓迎看板を設置します。



文化財態調査